

令和4年度進行管理・評価シート
佐川町 歴史的風致維持向上計画

□進捗評価シート(様式1)

- | | |
|--|---|
| ①組織体制(様式1-1) | |
| 1 庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催 | 1 |
| ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) | |
| 1 司牡丹酒造(株)焼酎蔵買取・整備事業 | 2 |
| ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) | |
| 1 「文教のまち」推進事業 | 3 |
| ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) | |
| 1 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について | 4 |
| 2 文化財の防災について | 5 |
| 3 文化財の保存及び活用の普及・啓発について | 6 |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) | |
| 1 報道等タイトル・掲載紙一覧 | 7 |
| ⑥その他(効果等)(様式1-6) | |
| 1 牧野富太郎博士を題材にした2023年度前期 連続テレビ小説(NHK)
「らんまん」が令和5年春放送決定 | 8 |
| 2 牧野富太郎博士顕彰事業 | 9 |

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 10

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	佐川町歴史的風致維持向上計画を円滑かつ着実に遂行するために、計画推進体制(事務局と審議組織との連携)を強化し、歴史的風致維持向上計画協議会の活動をサポートしていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
庁内会議を7回、佐川町歴史的風致維持向上計画協議会を1回開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
庁内会議 令和4年 9月22日 10月3日 11月17日 12月20日 12月21日 令和5年 2月14日 3月20日  協議会 令和5年2月21日  会議次第 - 委員の委嘱について - 報告事項 - 歴史まちづくりカード作成について - 協議事項 - 司牡丹焼酎蔵買取・整備事業について - 令和5年度の事業スケジュールについて			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和4年度								
項目		現在の状況								
司牡丹酒造(株)焼酎蔵買い取り・整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手								
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物指定予定の司牡丹焼酎蔵を買い取り、老朽化により崩れかけている白壁の修理、内外装の整備、耐震補強工事を行い、酒作り歴史展示施設としての機能を付加する。									
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で										
令和4年度佐川町歴史的風致維持向上計画協議会にて、施設整備スケジュールについて の承認を得た。令和5年度に耐震補強基本計画・活用計画策定を実施。										
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)									
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	耐震補強基本計画及び活用計画策定委託業務について、公募型プロポーザル方式により事業者を選定する。									
状況を示す写真や資料等										
   <u>施設整備スケジュール</u> <table border="0"> <tr> <td>(1) 耐震補強基本計画・活用計画策定</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>(2) 実施設計・用地買取</td> <td>令和6年度</td> </tr> <tr> <td>(3) 改修工事</td> <td>令和7年度～</td> </tr> <tr> <td>(4) 活用開始</td> <td>令和8年度(予定)</td> </tr> </table>			(1) 耐震補強基本計画・活用計画策定	令和5年度	(2) 実施設計・用地買取	令和6年度	(3) 改修工事	令和7年度～	(4) 活用開始	令和8年度(予定)
(1) 耐震補強基本計画・活用計画策定	令和5年度									
(2) 実施設計・用地買取	令和6年度									
(3) 改修工事	令和7年度～									
(4) 活用開始	令和8年度(予定)									

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
「文教のまち」推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	
支援事業名	霧生関(57号)発行業務、伊藤蘭林氏墓周囲・道の除草管理業務、竹村家住宅拝観料	
計画に記載している内容	佐川町の歴史的風致である「文教」をさらに推進するため、地域における歴史・文化等に着目した「文教活動」を支援する。・地域住民による偉人顕彰活動への支援・「霧生関」発行等歴史的な活動への支援・観光と歴史的風致が連携した活動を実施する団体への支援・名教館等歴史的建造物で実施される活動への支援	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
佐川町歴史的風致維持向上計画(第2期)の「「文教」が醸し出す歴史的風致」にのっとり、熱い思いと誇りを胸に、文教のまちを次の世代へと継承する活動・事業に対し、町が予算の範囲内で補助することにより、佐川町の歴史的風致の維持向上を図るとともに、歴史的文化を活用したまちづくりの推進を図ることを目的とした、補助金を制定した。(交付実績:3件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 ・(交付実績)・佐川史談会発行「霧生関」 明治22年に佐川町出身の学生たちにより創刊され、 昭和55年に「佐川史談会」により復刊された機関誌。  ・町民有志による「伊藤蘭林氏墓周囲・道の除草管理業務」 伊藤蘭林は「佐川町歴史的風致維持向上計画」における文教が醸し出す「歴史的風致」において、名教館との果たす役割は大きく、計画の中でも「文教の礎」と紹介されている。  ・NPO法人佐川くろがねの会による「竹村家住宅へのガイド」 国の重要文化財である「竹村家住宅」は県下屈指の酒蔵とともに佐川の主要観光エリアにあり、年中を通して観光客が訪れている。		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用について 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	現在、文化財の保存活用に携わる団体は、積極的かつ地道な活動を展開しており、まちづくり行政等との連携も十分とれている。今後も、こうした活動の前進をさらに目指し、行政との連携も一層強化する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、コロナ禍で開催が困難になっていた取組みもあったが、令和4年度はコロナが少し落ち着いたこともあり、コロナ禍前のように通常開催することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

佐川高校地域マネジメント部の活動



わんさかわっしょい体験博プログラム「地元高校生と行く牧野富太郎散策の町歩き！～上町・牧野公園散策～」当日の様子



上町地区「まちの駅」で【さかぐらcafe】を開催
12月25日(土)、26日(日)



上町地区で毎年開催される「酒蔵ロード劇場」。令和4年度は、2年ぶりに通常通りの開催を行うことができた。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
文化財の防災について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	火災が発生しないための予防対策の徹底と、迅速な消火体制の確保を図るとともに、万が一の火災発生時には迅速に対応できるよう日頃からの防火教育・訓練に取り組む。 毎年1月26日の文化財防火デーにあわせて、有形文化財に指定された建造物等で消火訓練を実施。地元住民・地元消防団・消防署・防災担当・文化財保護審議会委員が参加している。	
事業期間	令和5年1月26日	
支援事業名	第69回文化財防火デー防火訓練	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年度の文化財防火デーの消火訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止となったが、今年度は無事に開催することができた。防火デーには、加茂地区で文化財を対象に消防署、消防団、地域住民の方々と共に初期消火訓練を実施し防火意識の向上を図った。地域住民の参加人数は約15名程。今後も引き続き、文化財の保存や防災の大切さについて関係者に周知を行っていく。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	南海トラフ地震の発生が予測されていることもあって、地域住民の防災について一定理解が高まっているが、今後も引き続き、各地区を回り、防災意識の啓発及び文化財に対する理解を深めてもらう活動が続けていく必要があると思われる。	
状況を示す写真や資料等		
 1月26日文化財防火デーの防火訓練には地域住民、地元消防団、消防署、文化財保護審議会委員が参加し、模擬通報、地元消防団における防水訓練、地域住民による消火器での初期消火訓練等を実施後、消防署から講評を受けた。  町指定天然記念物「加茂のイチイガシ」のある、加茂本村西の賀茂神社にて、火災発生を想定し、通報訓練等及び初期消火訓練を実施した。		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発について		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	文化財の価値を町民がより理解し、保存や活用の意識を高めるため、学校教育では町独自の文化財教育・文化財見学会を実施し、社会教育等では文化財や町の歴史に関する教室の開催、分かりやすいパンフレットの作成による啓発活動などを行う。		
事業期間	令和4年8月16日、令和4年11月3日、令和4年11月12日		
支援事業名	瑞応の盆踊、佐川町の太刀踊、白倉神社花取踊		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
黒岩小学校で卒業生（高校生）も含めて、「太刀踊り子ども教室」を開催し、高知県の無形民俗文化財である「佐川町の太刀踊」の継承に取り組んだ。他にも斗賀野小学校児童による白倉神社花取踊（町指定無形民俗文化財）や瑞応の盆踊（県指定無形民俗文化財）に地域の児童・生徒が参加、地域の行事などを通じて成果を披露し、地域の伝統芸能としての位置づけを高めた。 数年規模を縮小して開催していたが、コロナ明けで通常開催に戻りつつある。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画の進捗に影響あり ☐計画の進捗に影響なし		児童生徒が積極的に参加し、継承に取り組んでいるが、発表の場は地域内の行事に限られている。今後は、町内外のイベント等への参加及び披露する機会を増やすことを検討していく。	
状況を示す写真や資料等			



【瑞応の盆踊 (県指定保護無形民俗文化財)】

黒岩瑞応地区が中心となり、瑞応盆踊りを継承していくため、子どもたちの指導にあたっている。
 新型コロナウイルスの影響により、数年規模を縮小して開催していたが、今年度は通常通り開催することができた。
 多くの地域住民の参加があり、久しぶりの賑わいが見られた。



【佐川町の太刀踊 (県指定保護無形民俗文化財)】

黒岩地区の小中高生等が積極的に参加し継承に取り組んでいる。
 11月3日の仁井田神社の秋の大祭で神事のあと太刀踊りを奉納している。



【白倉神社花取踊 (町指定保護無形民俗文化財)】

斗賀野地区の小中高生等が積極的に参加し、継承に取り組んでいる。
 11月12日の白倉神社の秋の大祭では保育園児が神輿を担いでおなばれを執り行い、白倉神社・美都岐神社で花取踊りを奉納した。
 昨年度は新型コロナウイルスの影響により、大人のみの踊りとなったが、今年度は子供(中学生以上)も参加することができた。
 また、キャンノンマーケティングから依頼があり、文化庁の公開事業「地域の伝統行事等のための伝承事業」より当日には撮影と後日オンラインによる情報発信が開始された。

令和4年度		
評価対象年度		令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
バス待合所を明るく…牧野博士やバイカオウレンなど描く 佐川高生が観光ムード盛り上げ	R4.4.20	高知新聞
「牧野イベント」、古里の高知県佐川町でも 山野草の苗の販売など4／24まで	R4.4.20	高知新聞
牧野博士に思いつづる 手紙コンテスト入賞12点を展示	R4.4.25	高知新聞
ガンゼキラン爽やか 高知県佐川町の牧野公園	R4.5.19	高知新聞
牧野博士朝ドラへ顕彰協議会設立 佐川町議会	R4.6.4	高知新聞
かき氷街道キーン！！7カ所16種類提供 佐川町・日高村	R4.7.2	高知新聞
牧野公園の魅力、佐川中学生が散策で再発見	R4.7.10	高知新聞
2枚の殻…でも貝じゃない？佐川地質館で古代の「腕足動物」特別展 高知県佐川町	R4.7.31	高知新聞
佐川高生が地元産品スイーツに イチゴやお茶活用 8／13、14販売	R4.8.11	高知新聞
瑞応の盆踊り優雅に 3年ぶり本格開催 高知県佐川町	R4.8.18	高知新聞
「タイムスリップした気分」大正時代の制服で撮影会 高知県立佐川高100周年で町が再現	R4.8.18	高知新聞
牧野富太郎の魅力を語る「トミット」、生誕地の佐川町で10月開催	R4.9.10	朝日新聞デジタル
佐川高校音楽部が女学校時代の校歌を練習 文化祭などで披露 佐川町	R4.9.15	高知新聞
牧野博士と草花かわいく 高知県佐川町が朝ドラ、観光PR キービジュアルとロゴ発表	R4.9.16	高知新聞
高知県佐川町商店街の将来像 佐川中学生が探る アイデアを発表	R4.9.25	高知新聞
ロビーに響く楽しい音色 高知県佐川町「桜座」で11組コンサート	R4.9.27	高知新聞
住民の学び合いの場に 図書館や交流スペース、新文化拠点基本設計 高知県佐川町がまとめる	R4.9.27	高知新聞
佐川高創立100年祝い式典 高知県佐川町、10／1には文化祭	R4.10.1	高知新聞
いとせいこうさん「牧野本」出版へ佐川巡る 博士に扮し植物採集	R4.10.8	高知新聞
旧浜口雄幸邸に光を 移築主の長女が活用、あすから着物など展示販売 高知県佐川町	R4.10.13	高知新聞
牧野富太郎博士、色あせぬ功績 親族や研究者が人物像語る 高知県佐川町でシンポジウム	R4.10.16	高知新聞
「見守って」神木隆之介さん、浜辺美波さんと牧野博士の墓参り 佐川町の牧野公園 「らんまん」高知県内で撮影中	R4.10.22	高知新聞
朝ドラ「らんまん」高知県内撮影進む 寺脇康文さん、松坂慶子さん熱演	R4.10.22	高知新聞
朝ドラ「らんまん」高知ロケ最終、佐川町民28人のエキストラも出演 明治初期の町並み再現	R4.10.24	高知新聞
生誕160年記念、牧野博士の生涯熱演 高知市の劇団が佐川町で	R4.10.26	高知新聞
新酒の季節ですよ～ 漂う杉の香「酒林」 高知県佐川町	R4.11.5	高知新聞
勇壮！斗賀野花取り踊り 中高生も継承 高知県佐川町	R4.11.15	高知新聞
歴史の町並み光で彩る 高知県佐川町で酒蔵ロード劇場、3年ぶり有観客	R4.11.22	高知新聞
かしこ集合、休校舎にぎやか 佐川町黒岩で住民が初のコンテスト	R4.11.26	高知新聞
高知県佐川町で牧野博士のミュージカル 子ども34人が熱演	R4.11.28	高知新聞
牧野博士が幼少期に歩いた道…有志が整備し復活 高知県佐川町、ツアー開催やマップ作成も	R5.1.8	高知新聞
苔テラリウムやマキノジン…佐川の食や観光をわんぱく発信！わんさかわっしょい体験博、開催中★	R5.1.17	高知新聞
歴史的町並みの魅力、はきはきと発信！ 高知県立佐川高生が地元観光ガイド 上町地区周辺	R5.1.22	高知新聞
牧野富太郎博士が愛した桜の植樹始まる 高知県佐川町	R5.2.2	高知新聞
植物への飽くなき探究心…牧野富太郎博士の生涯たどる 高知県佐川町の青山文庫で特別展	R5.2.5	高知新聞
牧野博士の幼少期の部屋、植物スケッチ、分解時計…牧野富太郎ふるさと館リニューアル 高知県佐川町	R5.2.5	高知新聞
牧野博士が愛した花 バイカオウレン見頃 佐川町加茂	R5.2.15	高知新聞
牧野博士胸像を高知・佐川町に 有志が準備、募金呼び掛け 牧野公園に設置予定	R5.2.21	高知新聞
仏ソムリエら土佐酒を学ぶ 高知県が招待、司牡丹など4歳通る	R5.2.22	高知新聞
朝ドラ「らんまん」へ佐川にぎやかに 牧野富太郎博士出身の町 フォトスポット設置、観光バスも導入—ドラマティックMAKINO！	R5.2.27	高知新聞
おもちゃ美術館開業待ち遠しい！子どもたち楽しくプレ体験 高知県佐川町でキャラバン	R5.3.12	高知新聞
高知にいた首長竜？の化石展示 3／18・19 佐川地質館が企画	R5.3.14	高知新聞
牧野博士の笑顔描く 高知市の画家・池上さんが佐川町に肖像画寄贈	R5.3.25	高知新聞
「佐川は素晴らしい舞台」NHK「らんまん」制作者らがトーク 島崎和歌子さん役柄熱く語る	R5.3.27	高知新聞

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

2023年度前期 連続テレビ小説(NHK)「らんまん」の放送決定を受け、佐川町を訪れる観光客数が激増し、メディアでとりあげられる回数も増加した。町民の活力も上昇している様子が伺える。

進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



佐川高校創立100周年
当時の学生服を再現し、現役の佐川高校生
による上町地区での撮影の様子

項目		評価対象年度	令和4年度
牧野富太郎博士を題材にした 連続テレビ小説「らんまん」が令和5年春放送決定			
計画に記載している内容	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付 放送決定を受け、これまでの想定以上の観光客の来町が見込まれる。連続テレビ小説「らんまん」を契機とした観光振興を図るため、町外向けの情報発信や、観光の中心となる上町周辺の観光施設のリニューアル等観光客受け入れ態勢の整備(ソフト・ハード)を実施。当該年度の入り込み客数は激増しており、令和5年度以降放送終了後も見据えた事業推進が必要。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
「牧野富太郎博士顕彰事業実施計画」を作成。計画を元に事業を実施 内容:①牧野富太郎を知ってもらう ②佐川町を知ってもらう ③まち全体で盛り上げる・歓迎する ④観光振興につなげる ⑤産業振興につなげる 具体的な事業内容 ① 牧野富太郎博士を知ってもらう ・青山文庫や佐川地質館での企画展 ・青山文庫や佐川地質館等の展示施設及び展示物の充実 ・牧野博士紹介動画の作成 など ② 佐川町を知ってもらう ・キービジュアル・ロゴマークの作成 ・観光協会のHPの改修 ・観光パンフレットの作成 ・佐川町の魅力紹介映像作成 ・インフルエンサーによる情報発信 ③ まち全体で盛り上げる・歓迎する ・補助金の創設 ・看板等の整備 ・フォトスポットの作成 ・横断幕等の町内装飾 など ④ 観光振興につなげる ・草花ガイドの運営 ・ガイドブックの作成 ・周遊バスの購入 ・観光施設のリニューアル など ⑤ 産業振興につなげる ・補助金の創設 ・土産物の開発 など			

評価軸⑥-2
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

牧野富太郎博士生誕160年事業

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

佐川町出身の世界的な植物学者である牧野富太郎博士が令和4年4月24日で生誕160年を迎える。この160年を記念して、「植物や自然と正面から向き合った博士の遺徳を偲びつつ顕彰し、改めて牧野博士の残した功績や人となりを広く国内外に伝えていきたい。」という思いから越知町、高知県立牧野植物園等とともに、「牧野富太郎生誕160年記念事業実行委員会」を組織した。令和3年度から、準備や設立総会などをおこない事業を実施。生誕160年の年にあたる令和4年度は、本実行委員会の主要事業である手紙コンテストの巡回展を実施。佐川町・高知県立牧野植物園・越知町・練馬区立牧野記念庭園と牧野博士ゆかりの地でそれぞれの特徴を生かした巡回展となり、多くの方に楽しんでいただいた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

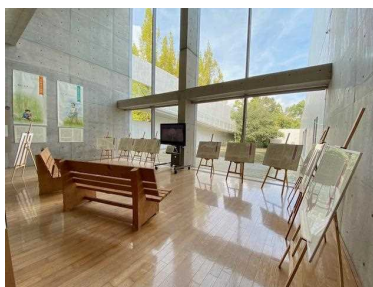
- ・表彰式: 令和4年4月24日(日)佐川町 牧野公園
- ・巡回展:
令和4年4月16日(土)～6月15日(水) 佐川町 牧野富太郎ふるさと館
令和4年7月16日(土)～9月4日(日) 高知県立牧野植物園
令和4年10月1日(土)～11月27日(日) 越知町 横倉山自然の森博物館
令和5年2月11日(土)～3月31日(金) 練馬区立牧野記念庭園記念館



表彰式



巡回展(佐川町)

巡回展
(牧野植物園)

巡回展(越知町)

■佐川町単独事業:

一般社団法人 戸塚刺しゅう協会の刺しゅう展「刺しゅうで彩る
牧野公園の植物たち」
上記手紙コンテストの巡回展(佐川会場)と同時開催

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 佐川町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和5年2月21日	
(コメントの概要) ＜ 司牡丹焼酎蔵買取・整備事業 ＞ (1) <u>耐震補強基本計画及び活用計画策定業務公募型プロポーザルの実施について</u> 歴史まちづくりの専門の内容が分かる、また周辺の施設とのバランスも考えていただくという視野を持った事業者を選定してもらいたい。 (2) <u>焼酎蔵活用と展示内容について</u> 酒造り展示施設だけではあの建物は広すぎる。この地域の人々の暮らしを伝える民具の展示ならスペースがあまり必要なく、重要なものになってくると思う。 ＜ 令和5年度の事業スケジュール ＞ (3) <u>佐川城跡整備事業について</u> 歴史的な遺構の保存と観光のバランスをとった開発をしてもらいたい。	
(今後の対応方針) (1) プロポーザルについては、高知県内の事業者に限らず、全国的に広く公募を行う。 (2) 焼酎蔵の活用方法について、いくつかの案を事務局から提案し、委員で協議へ。 (3) 県及び文化財の委員に相談の上、専門家に依頼し、城跡の遺構が損傷しないような調査及び計画策定を行う。観光サイドとも調整しながら整備をすすめる。	